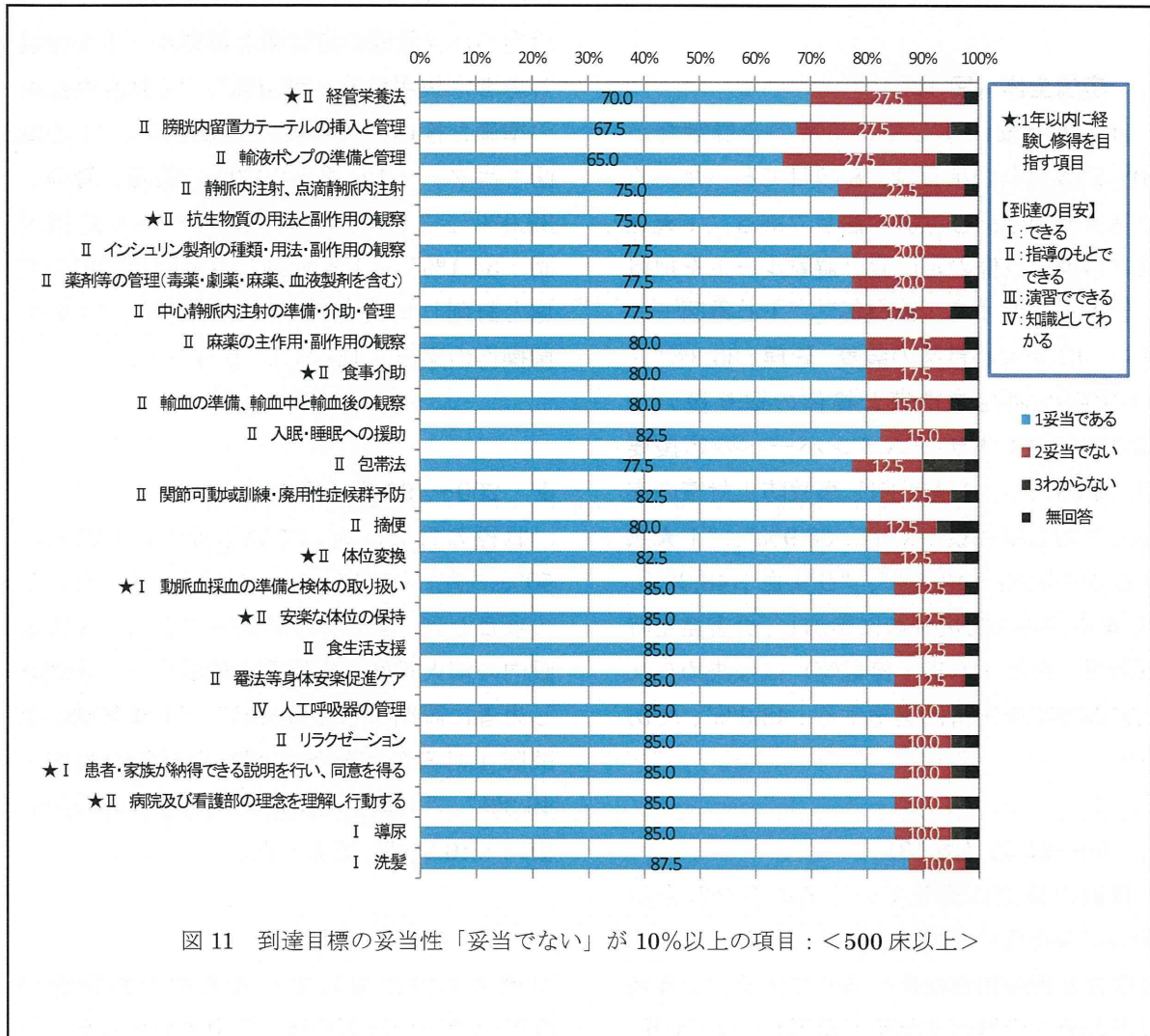


e. 500床以上の病院（図11）

26項目が該当し、そのうち20%以上が「妥当ではない」と回答した項目は7項目であった。その項目と「妥当でない」割合は次の通りである。“Ⅱ★経管栄養法：27.5%”、“Ⅱ膀胱内留置カテーテルの挿入と管理：27.5%”、“Ⅱ輸液ポンプの準備と管理：27.5%”、“Ⅱ静脈内注射、点滴静脈内注射：22.5%”、“Ⅱ★抗生物質の用法と副作用の観察：20.0%”、“Ⅱインシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察：20.0%”、“Ⅱ薬剤等の管理（毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む）：20.0%”であった。

“Ⅱ輸液ポンプの準備と管理：27.5%”、“Ⅱ静脈内注射、点滴静脈内注射：22.5%”、“Ⅱ★抗生物質の用法と副作用の観察：20.0%”、“Ⅱインシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察：20.0%”、“Ⅱ薬剤等の管理（毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む）：20.0%”であった。



3. 実施頻度と到達度

ここでは、現場での実施頻度と到達状況を
実地指導者の視点から評価した結果を述べる。
特に、実施頻度が「全くない」「ほとんどない」
割合の合計が10%以上の項目であり、目標の
目安に達している者の合計割合についてであ
る。

a. 病院全体（図12）

目標の目安に達している者の合計割合が
50%に満たない項目は、8項目であった。そ
の項目と到達割合は次の通りである。“I★施
設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握
し患者に説明する：25.1%”、“I 心電図モニ
ター・12誘導心電図の装着、管理：35.3%”、
“I 動脈血採血の準備と検体の取り扱い：
35.5%”、“I★チームメンバーへの応援要
請：38.9%”、“I★針刺し事故防止対策の実
施と針刺し事故後の対応：38.9%”、“I★無
菌操作の実施：43.4%”、“II止血：48.3%”、
“II★定期的な防災訓練に参加し、災害発生時
（地震・火災・水害・停電等）には決められ
た初期行動を円滑に実施する：48.3%”、であ
った。

b. 20～99床（図13）

目標の目安に達している者の合計割合が
50%に満たない項目は、9項目であった。そ
の項目と到達割合は次の通りである。“I★施
設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握
し患者に説明する：13.8%”、“I 心電図モニ
ター・12誘導心電図の装着、管理：31.2%”、
“I★針刺し事故防止対策の実施と針刺し事
故後の対応：33.9%”、“I★チームメンバー
への応援要請：34.9%”、“I 動脈血採血の準
備と検体の取り扱い：34.9%”、“II止血：
38.5%”、“I★無菌操作の実施：39.4%”、“I
★意識レベルの観察：41.3%”、“II★定期的
な防災訓練に参加し、災害発生時（地震・火
災・水害・停電等）には決められた初期行動

を円滑に実施する：48.6%”、であった。

c. 100～199床（図14）

目標の目安に達している者の合計割合が
50%に満たない項目は、6項目であった。そ
の項目と到達割合は次の通りである。“I★施
設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握
し患者に説明する：23.4%”、“I 動脈血採血
の準備と検体の取り扱い：32.9%”、“I 心電
図モニター・12誘導心電図の装着、管理：
32.9%”、“I★チームメンバーへの応援要
請：34.1%”、“I★針刺し事故防止対策の実
施と針刺し事故後の対応：37.7%”、“I★無
菌操作の実施：42.5%”、であった。

d. 200～499床（図15）

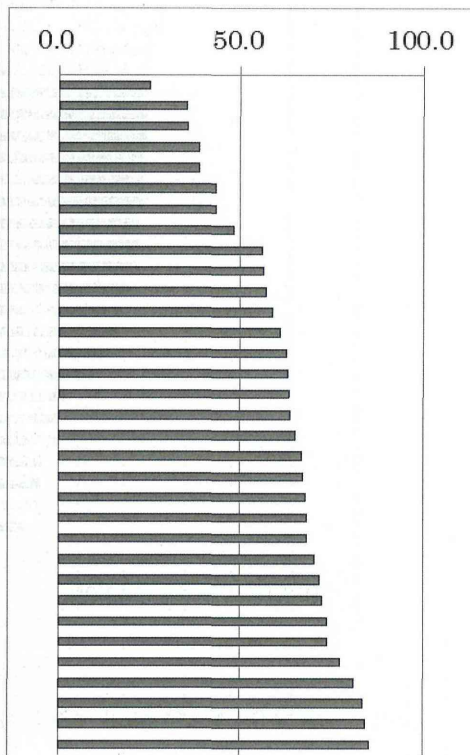
目標の目安に達している者の合計割合が
50%に満たない項目は、3項目であった。そ
の項目と到達割合は次の通りである。“I★施
設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握
し患者に説明する：30.1%”、“I★針刺し事
故防止対策の実施と針刺し事故後の対応：
46.3%”、“I 動脈血採血の準備と検体の取
り扱い：46.3%”、であった。

e. 500床以上（図16）

目標の目安に達している者の合計割合が
50%に満たない項目は、7項目であった。そ
の項目と到達割合は次の通りである。“II止
血：27.0%”、“I★チームメンバーへの応援
要請：32.4%”、“I★施設内の消火設備の定
位置と避難ルートを把握し患者に説明する：
32.4%”、“I 心電図モニター・12誘導心電
図の装着、管理：37.8%”、“I★針刺し事故防
止対策の実施と針刺し事故後の対応：40.5%”、
“I 動脈血採血の準備と検体の取り扱い：
40.5%”、“I★意識レベルの把握：45.9%”、
であった。

実地指導者(n=530) 実地指導者(n=530)

	看護活動の実施頻度					到達度					目標の目安を基準とした到達度の合計の割合		
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人でできる	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる		5 わからない	無回答
★Ⅰ 施設内の消火設備の位置と避難ルートを把握し患者に説明する	8.7	22.8	30.4	9.8	23.2	5.1	25.1	31.9	12.1	15.1	10.0	5.8	25.1
Ⅰ 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	2.3	11.7	24.3	17.7	39.2	4.7	35.3	44.9	8.1	3.4	2.8	5.5	35.3
Ⅰ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	10.8	14.9	27.5	14.0	28.1	4.7	35.5	36.6	4.3	9.6	8.1	5.8	35.5
★Ⅰ チームメンバーへの応援要請	5.3	23.4	34.7	15.8	16.0	4.7	38.9	29.1	11.7	11.1	4.0	5.3	38.9
★Ⅰ 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	6.0	21.7	13.0	7.2	46.2	5.8	38.9	35.7	2.6	12.6	5.3	4.9	38.9
★Ⅰ 無菌操作の実施	4.0	8.7	18.3	20.4	43.8	4.9	43.4	39.6	2.6	6.0	2.6	5.7	43.4
★Ⅰ 意識レベルの把握	2.6	8.7	25.5	18.5	40.2	4.5	43.4	37.7	3.4	7.9	2.6	4.9	43.4
Ⅱ 止血	12.6	40.0	25.1	9.1	8.1	5.1	12.8	35.5	15.7	20.0	10.4	5.7	48.3
★Ⅱ 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	5.3	20.9	45.1	7.5	16.4	4.7	13.0	42.8	17.2	14.0	8.1	4.9	55.8
★Ⅲ 気管挿管の準備と介助	23.6	43.0	21.1	4.7	3.0	4.5	2.8	22.1	31.5	24.9	13.8	4.9	56.4
Ⅰ 導尿	1.3	10.6	34.9	20.4	28.9	4.0	57.0	30.4	3.2	2.8	1.5	5.1	57.0
★Ⅲ 人工呼吸	32.1	37.0	20.0	3.4	2.8	4.7	4.2	19.6	35.1	24.2	11.3	5.7	58.9
Ⅰ 入浴介助	6.4	6.8	11.9	15.3	55.3	4.3	60.9	24.5	1.9	3.4	3.4	5.8	60.9
Ⅱ 体位ドレナージ	8.9	20.2	21.7	17.9	26.6	4.7	16.4	46.2	7.0	16.0	8.5	5.8	62.6
★Ⅲ 閉鎖式心臓マッサージ	28.3	42.6	20.8	2.3	1.3	4.7	6.2	17.7	38.9	20.6	11.3	5.3	62.8
Ⅳ 人工呼吸器の管理	36.0	13.8	20.8	8.5	16.4	4.5	5.5	27.9	6.4	23.6	31.3	5.3	63.4
Ⅱ 包帯法	11.3	33.2	21.9	11.1	17.9	4.5	20.9	42.6	7.2	12.3	10.6	6.4	63.6
Ⅱ 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	7.5	20.0	20.8	17.4	29.2	5.1	20.4	44.5	7.0	11.1	10.8	6.2	64.9
Ⅱ 中心静脈内注射の準備・介助・管理	12.3	13.0	24.0	17.2	29.1	4.5	24.0	42.8	6.4	10.9	10.2	5.7	66.8
★Ⅰ ネプライザーの実施	5.8	10.0	16.6	12.3	50.9	4.3	67.2	18.7	2.3	4.5	2.3	5.1	67.2
★Ⅲ 気道確保	14.5	39.8	30.4	5.8	4.9	4.5	7.4	29.8	30.6	20.0	7.0	5.3	67.7
Ⅱ 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	11.9	10.9	28.5	17.0	27.4	4.3	14.0	54.2	5.8	10.4	10.8	4.9	68.1
Ⅱ 麻薬の主作用・副作用の観察	12.1	17.0	25.1	17.0	24.0	4.9	21.7	46.6	3.4	13.2	9.6	5.5	68.3
Ⅱ リラクゼーション	5.5	16.2	24.5	18.1	29.1	6.6	30.4	40.0	5.7	8.5	8.9	6.6	70.4
Ⅱ 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	13.2	9.2	30.9	19.4	22.5	4.7	30.0	41.9	3.2	11.1	8.5	5.3	71.9
Ⅱ 薬剤・放射線暴露防止策の実施	7.0	12.5	17.9	14.5	42.8	5.3	27.4	44.9	4.3	9.1	8.7	5.7	72.3
Ⅰ 洗髪	4.7	7.5	15.8	15.7	51.9	4.3	73.8	11.9	2.6	2.8	3.4	5.5	73.8
Ⅱ 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	4.0	11.7	22.8	21.1	35.5	4.9	20.0	53.8	2.5	11.5	6.8	5.5	73.8
Ⅱ 精神的安寧を保つための看護ケア	2.3	8.1	24.9	22.5	36.6	5.7	25.5	51.9	3.2	7.5	6.2	5.7	77.4
Ⅱ 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	2.5	7.2	12.8	21.5	51.7	4.3	21.5	59.8	3.0	5.5	5.3	4.9	81.3
★Ⅱ 経管栄養法	7.0	8.1	14.3	12.8	53.8	4.0	63.4	20.2	2.8	4.5	4.0	5.1	83.6
Ⅱ 輸液ポンプの準備と管理	5.8	4.3	13.4	17.9	54.0	4.5	57.9	26.4	3.6	4.0	2.8	5.3	84.3
Ⅱ 摘便	3.8	10.0	24.5	19.6	37.9	4.2	61.5	23.8	2.6	3.4	3.6	5.1	85.3

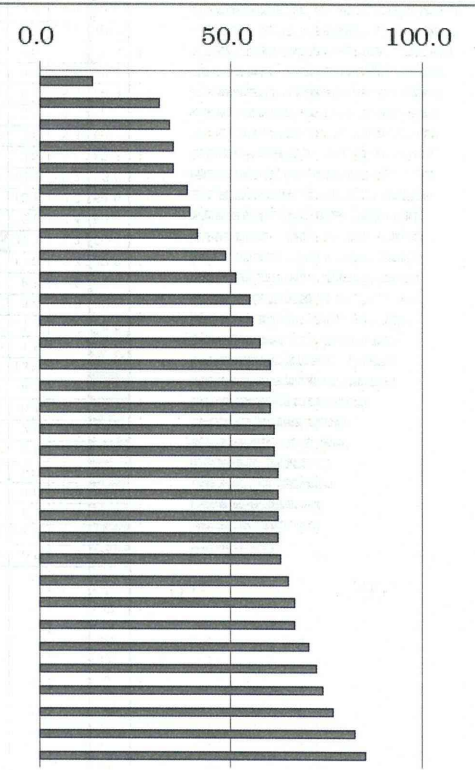


* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度

図 12 : 実施頻度と到達状況 : 病院全体

	99床以下 実地指導者(n=109)						99床以下 実地指導者(n=109)						目標の目安を基準とした到達度
	看護活動の実施頻度						到達度						
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人でできる	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無回答	
★Ⅰ 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	14.7	21.1	34.9	6.4	18.3	4.6	13.8	32.1	16.5	21.1	11.0	5.5	13.8
Ⅰ 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	1.8	12.8	24.8	17.4	39.4	3.7	31.2	43.1	12.8	5.5	1.8	5.5	31.2
★Ⅰ 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	3.7	20.2	21.1	5.5	45.0	4.6	33.9	35.8	5.5	14.7	6.4	3.7	33.9
★Ⅰ チームメンバーへの応援要請	1.8	25.7	38.5	17.4	12.8	3.7	34.9	28.4	14.7	14.7	2.8	4.6	34.9
Ⅰ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	10.1	14.7	33.0	11.9	25.7	4.6	34.9	38.5	4.6	5.5	11.9	4.6	34.9
Ⅱ 止血	12.8	45.9	21.1	6.4	10.1	3.7	13.8	24.8	21.1	22.0	11.9	6.4	38.5
★Ⅰ 無菌操作の実施	5.5	7.3	12.8	18.3	50.5	5.5	39.4	38.5	3.7	10.1	2.8	5.5	39.4
★Ⅰ 意識レベルの把握	1.8	8.3	27.5	16.5	42.2	3.7	41.3	35.8	5.5	8.3	4.6	4.6	41.3
★Ⅱ 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	5.5	15.6	54.1	5.5	14.7	4.6	8.3	40.4	20.2	13.8	11.9	5.5	48.6
★Ⅲ 人工呼吸	27.5	40.4	25.7	1.8	0.9	3.7	4.6	18.3	28.4	32.1	11.9	4.6	51.4
★Ⅲ 気管挿管の準備と介助	18.3	45.9	26.6	4.6	0.9	3.7	2.8	23.9	28.4	24.8	15.6	4.6	55.0
Ⅰ 入浴介助	9.2	8.3	8.3	9.2	61.5	3.7	56.0	24.8	0.9	3.7	8.3	6.4	56.0
Ⅱ 包帯法	9.2	37.6	23.9	11.0	13.8	4.6	21.1	36.7	8.3	12.8	14.7	6.4	57.8
★Ⅲ 閉鎖式心臓マッサージ	27.5	42.2	22.9	2.8	0.9	3.7	3.7	21.1	35.8	21.1	13.8	4.6	60.6
Ⅱ 体位ドレナージ	6.4	19.3	26.6	14.7	29.4	3.7	15.6	45.0	6.4	20.2	7.3	5.5	60.6
Ⅰ 洗髪	6.4	12.8	15.6	18.3	43.1	3.7	60.6	18.3	4.6	4.6	7.3	4.6	60.6
Ⅱ リラクゼーション	7.3	17.4	25.7	11.9	30.3	7.3	21.1	40.4	9.2	11.0	11.0	7.3	61.5
Ⅱ 中心静脈内注射の準備・介助・管理	11.9	13.8	20.2	19.3	30.3	4.6	25.7	35.8	7.3	9.2	14.7	7.3	61.5
Ⅳ 人工呼吸器の管理	35.8	13.8	24.8	5.5	16.5	3.7	5.5	27.5	5.5	23.9	33.9	3.7	62.4
Ⅱ 麻薬の主作用・副作用の観察	16.5	12.8	27.5	18.3	18.3	6.4	21.1	41.3	6.4	11.9	13.8	5.5	62.4
★Ⅲ 気道確保	8.3	43.1	37.6	3.7	3.7	3.7	7.3	29.4	25.7	25.7	6.4	5.5	62.4
Ⅱ 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	10.1	22.9	13.8	16.5	31.2	5.5	15.6	46.8	3.7	13.8	11.9	8.3	62.4
Ⅱ 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	11.0	11.9	36.7	16.5	20.2	3.7	8.3	55.0	9.2	8.3	14.7	4.6	63.3
Ⅱ 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	7.3	19.3	21.1	20.2	27.5	4.6	13.8	51.4	3.7	15.6	10.1	5.5	65.1
Ⅱ 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	11.0	11.9	33.9	18.3	20.2	4.6	28.4	38.5	3.7	11.0	11.9	6.4	67.0
★Ⅰ ネブライザーの実施	3.7	7.3	17.4	15.6	52.3	3.7	67.0	20.2	3.7	1.8	2.8	4.6	67.0
Ⅱ 薬剤・放射線暴露防止策の実施	8.3	10.1	20.2	11.0	45.9	4.6	22.9	47.7	5.5	11.0	8.3	4.6	70.6
Ⅱ 精神的安寧を保つための看護ケア	4.6	8.3	29.4	20.2	33.0	4.6	16.5	56.0	4.6	10.1	8.3	4.6	72.5
Ⅱ 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	3.7	9.2	15.6	21.1	45.9	4.6	15.6	58.7	2.8	7.3	10.1	5.5	74.3
Ⅱ 輸液ポンプの準備と管理	3.7	7.3	17.4	17.4	49.5	4.6	47.7	29.4	9.2	5.5	2.8	5.5	77.1
Ⅱ 入眠・睡眠への援助	4.6	8.3	9.2	17.4	56.9	3.7	37.6	45.0	0.9	7.3	4.6	4.6	82.6
★Ⅱ 経管栄養法	10.1	3.7	12.8	5.5	65.1	2.8	70.6	14.7	0.9	4.6	6.4	2.8	85.3

「目標の目安」に達している者の
合計の割合



* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度

図 13 実施頻度と到達状況：20～99床

100～199床
実地指導者(n=167)

100～199床
実地指導者(n=167)

	看護活動の実施頻度						到達度						目標の目安を基準とした到達度の合計の割合
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人のできる	2 指導を受けてできる	3 演習のできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無回答	
★Ⅰ 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	6.0	29.9	26.3	12.0	19.8	6.0	23.4	34.1	7.2	15.6	13.8	6.0	23.4
Ⅰ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	5.4	16.2	29.3	18.0	26.3	4.8	32.9	40.7	4.8	10.8	6.0	4.8	32.9
Ⅰ 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	1.8	11.4	27.5	13.2	40.7	5.4	32.9	47.3	6.6	4.2	4.2	4.8	32.9
★Ⅰ チームメンバーへの応援要請	6.6	24.0	36.5	15.0	13.2	4.8	34.1	29.9	12.0	12.0	6.6	5.4	34.1
★Ⅰ 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	9.6	19.2	10.2	9.6	46.1	5.4	37.7	36.5	1.2	12.0	7.2	5.4	37.7
★Ⅰ 無菌操作の実施	4.8	9.0	18.6	22.2	40.7	4.8	42.5	40.7	2.4	3.6	4.8	6.0	42.5
Ⅱ 止血	13.2	37.7	26.9	7.8	9.0	5.4	12.6	38.3	10.2	21.0	12.6	5.4	50.9
★Ⅲ 気管挿管の準備と介助	22.8	37.7	26.3	6.6	2.4	4.2	1.8	23.4	31.7	21.6	16.8	4.8	56.9
Ⅰ 導尿	1.2	12.0	38.3	18.0	26.9	3.6	57.5	32.3	3.0	1.2	1.2	4.8	57.5
★Ⅱ 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	3.0	24.0	41.3	9.6	18.0	4.2	13.2	46.1	16.2	12.0	9.0	3.6	59.3
★Ⅲ 閉鎖式心臓マッサージ	28.1	38.3	25.7	2.4	0.6	4.8	4.2	18.0	40.1	19.8	13.2	4.8	62.3
★Ⅲ 人工呼吸	27.5	35.9	22.2	6.0	3.0	5.4	3.0	22.8	36.5	18.6	13.2	6.0	62.3
Ⅱ 体位ドレナージ	4.2	25.7	18.6	19.8	27.5	4.2	15.0	47.9	7.2	14.4	10.8	4.8	62.9
Ⅰ 入浴介助	5.4	7.2	12.6	18.6	52.7	3.6	63.5	22.8	3.0	4.2	2.4	4.2	63.5
Ⅱ 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	6.6	16.8	22.2	16.8	32.9	4.8	17.4	47.3	7.8	10.2	13.2	4.2	64.7
Ⅳ 人工呼吸器の管理	26.9	15.0	24.6	8.4	21.6	3.6	5.4	35.3	7.8	17.4	29.9	4.2	65.9
Ⅱ 包帯法	10.8	29.9	22.2	7.8	25.7	3.6	18.6	49.1	5.4	12.0	9.6	5.4	67.7
★Ⅲ 気道確保	14.4	35.3	34.7	6.6	4.8	4.2	4.2	34.1	31.1	16.8	9.0	4.8	69.5
Ⅱ 麻薬の主作用・副作用の観察	6.6	18.0	27.5	18.0	26.3	3.6	17.4	52.7	3.0	12.0	10.8	4.2	70.1
★Ⅰ ネブライザーの実施	3.6	7.2	18.0	11.4	55.7	4.2	70.1	18.6	0.0	4.2	2.4	4.8	70.1
Ⅱ リラクゼーション	3.6	17.4	28.1	17.4	25.7	7.8	24.0	46.7	6.6	4.2	11.4	7.2	70.7
Ⅱ 中心静脈内注射の準備・介助・管理	7.8	7.8	28.7	16.8	35.3	3.6	25.7	44.9	6.0	10.2	9.0	4.2	70.7
Ⅱ 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	6.6	9.0	31.1	16.8	32.9	3.6	16.2	55.1	3.6	9.0	12.0	4.2	71.3
Ⅱ 薬剤・放射線暴露防止策の実施	7.2	10.8	16.2	20.4	40.1	5.4	24.0	47.9	3.6	7.2	10.8	6.6	71.9
Ⅱ 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	1.2	10.2	26.3	24.6	33.5	4.2	19.8	53.9	1.2	9.6	11.4	4.2	73.7
Ⅱ 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	2.4	10.2	14.4	18.6	50.9	3.6	16.2	62.3	1.8	7.2	8.4	4.2	78.4
Ⅱ 精神的安寧を保つための看護ケア	1.2	9.0	27.5	21.6	34.1	6.6	23.4	55.7	2.4	5.4	7.2	6.0	79.0
Ⅱ 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	6.6	7.8	33.5	21.0	27.5	3.6	36.5	44.3	2.4	7.2	6.0	3.6	80.8
★Ⅱ 経管栄養法	4.2	6.6	13.2	13.2	58.7	4.2	68.9	15.0	3.6	5.4	1.8	5.4	83.8

「目標の目安」に達している者の
合計の割合



* 茶色: 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目
 緑色: 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 青色: 目標の目安を基準とした到達度

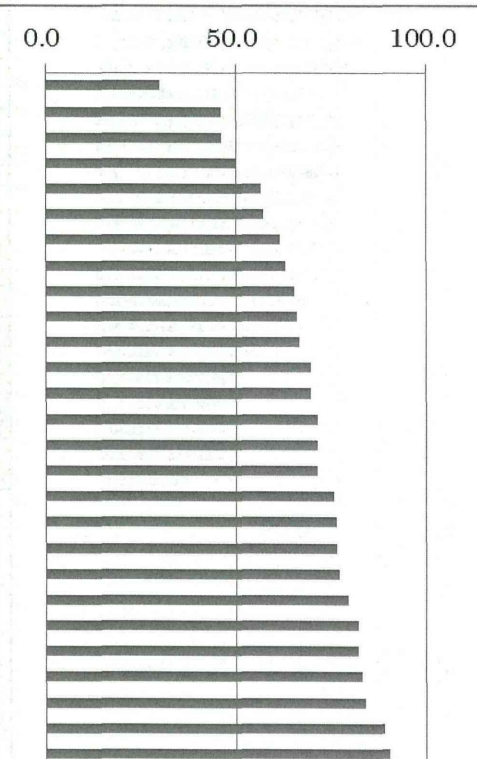
図 14 実施頻度と到達状況：100～199床

200～499床
実地指導者(n=136)

200～499床
実地指導者(n=136)

	看護活動の実施頻度						到達度						目標の目安を基準とした到達度の合計の割合
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人のできる	2 指導を受けてできる	3 演習のできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無回答	
★Ⅰ 施設内の消火設備の位置と避難ルートを把握し患者に説明する	7.4	22.1	27.9	10.3	30.1	2.2	30.1	30.1	14.7	13.2	8.1	3.7	30.1
★Ⅰ 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	4.4	25.7	6.6	6.6	52.9	3.7	46.3	34.6	1.5	12.5	2.9	2.2	46.3
Ⅰ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	4.4	11.0	27.9	17.6	36.0	2.9	46.3	40.4	2.2	5.1	0.7	5.1	46.3
★Ⅰ チームメンバーへの応援要請	5.1	21.3	26.5	18.4	26.5	2.2	50.0	25.0	11.0	8.1	2.9	2.9	50.0
Ⅱ 止血	11.8	35.3	29.4	11.0	8.8	3.7	11.8	44.9	17.6	16.9	5.1	3.7	56.6
★Ⅱ 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	6.6	24.3	44.9	7.4	14.7	2.2	13.2	44.1	16.9	16.2	6.6	2.9	57.4
★Ⅲ 気管挿管の準備と介助	24.3	46.3	16.2	5.1	5.1	2.9	3.7	23.5	34.6	26.5	8.8	2.9	61.8
Ⅰ 入浴介助	6.6	4.4	13.2	16.9	55.1	3.7	63.2	25.0	2.2	2.9	1.5	5.1	63.2
★Ⅲ 人工呼吸	34.6	37.5	16.9	3.7	4.4	2.9	3.7	19.1	42.6	23.5	8.1	2.9	65.4
Ⅳ 人工呼吸器の管理	32.4	13.2	19.9	12.5	18.4	3.7	8.1	26.5	7.4	24.3	28.7	5.1	66.2
★Ⅲ 閉鎖式心臓マッサージ	28.7	43.4	19.1	3.7	2.2	2.9	6.6	19.9	40.4	22.1	6.6	4.4	66.9
Ⅱ 包帯法	9.6	33.8	19.1	16.9	16.9	3.7	26.5	43.4	7.4	11.0	6.6	5.1	69.9
Ⅱ 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	5.9	14.0	23.5	20.6	32.4	3.7	25.7	44.1	9.6	8.1	8.1	4.4	69.9
★Ⅲ 気道確保	16.2	44.9	22.8	5.1	7.4	3.7	8.8	27.2	35.3	21.3	4.4	2.9	71.3
Ⅱ 体位ドレナージ	5.9	14.7	20.6	25.0	29.4	4.4	20.6	50.7	9.6	9.6	4.4	5.1	71.3
★Ⅰ ネブライザーの実施	4.4	8.1	15.4	16.9	52.2	2.9	71.3	19.9	2.2	2.9	0.7	2.9	71.3
Ⅱ 薬剤・放射線暴露防止策の実施	3.7	11.0	17.6	14.0	50.0	3.7	31.6	44.1	4.4	11.8	4.4	3.7	75.7
Ⅱ リラクゼーション	5.9	13.2	19.9	23.5	33.8	3.7	41.9	34.6	2.2	11.8	5.9	3.7	76.5
Ⅰ 浣腸	2.9	8.1	22.1	27.2	37.5	2.2	76.5	17.6	0.7	1.5	0.0	3.7	76.5
Ⅱ 精神的安寧を保つための看護ケア	2.9	7.4	20.6	30.9	34.6	3.7	30.9	46.3	2.9	9.6	6.6	3.7	77.2
Ⅱ 中心静脈内注射の準備・介助・管理	4.4	16.2	24.3	22.1	29.4	3.7	27.2	52.2	8.1	6.6	2.2	3.7	79.4
Ⅱ 麻薬の主作用・副作用の観察	5.1	15.4	27.9	18.4	29.4	3.7	30.1	52.2	1.5	8.1	3.7	4.4	82.4
Ⅱ 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	3.7	8.1	35.3	25.0	24.3	3.7	35.3	47.1	5.1	7.4	1.5	3.7	82.4
Ⅱ 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	2.2	11.0	31.6	23.5	28.7	2.9	18.4	64.7	4.4	6.6	2.9	2.9	83.1
Ⅱ 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	2.9	8.8	22.8	19.9	41.2	4.4	23.5	60.3	2.2	8.1	0.7	5.1	83.8
Ⅱ 摘便	3.7	8.8	27.2	19.1	38.2	2.9	66.2	22.8	2.2	2.2	0.7	5.9	89.0
★Ⅱ 経管栄養法	4.4	12.5	14.7	22.8	43.4	2.2	60.3	30.1	2.2	2.2	1.5	3.7	90.4

「目標の目安」に達している者の
合計の割合



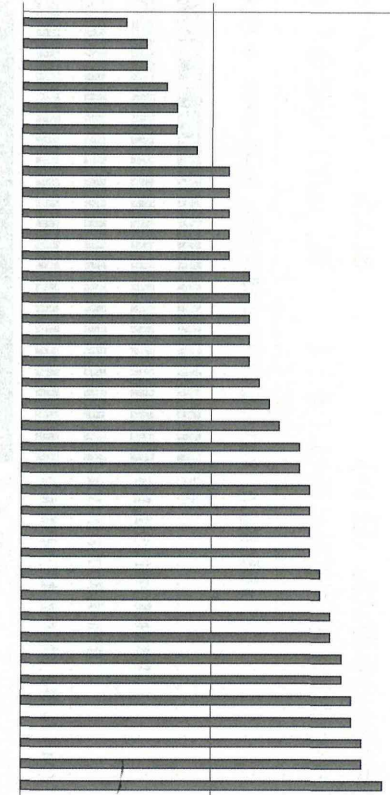
* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目 : 目標の目安を基準とした到達度

図 15 実施頻度と到達状況：200～499床

	500床以上 実地指導者 (n=37)						500床以上 実地指導者 (n=37)						目標の目安を基準とした到達度の合計の割合
	看護活動の実施頻度						到達度						
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無 回答	1 一人でできる	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無 回答	
II 止血	24.3	51.4	10.8	10.8	2.7	0.0	8.1	18.9	21.6	35.1	16.2	0.0	27.0
★ I チームメンバーへの応援要請	8.1	29.7	29.7	18.9	10.8	2.7	32.4	37.8	13.5	16.2	0.0	0.0	32.4
★ I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	10.8	16.2	40.5	8.1	24.3	0.0	32.4	32.4	18.9	10.8	5.4	0.0	32.4
I 心電図モニター・12誘導心電図の装着・管理	0.0	21.6	16.2	18.9	43.2	0.0	37.8	43.2	10.8	2.7	2.7	2.7	37.8
★ I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	8.1	18.9	13.5	8.1	43.2	8.1	40.5	40.5	2.7	10.8	2.7	2.7	40.5
I 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	5.4	13.5	29.7	10.8	40.5	0.0	40.5	37.8	2.7	10.8	5.4	2.7	40.5
★ I 意識レベルの把握	5.4	16.2	18.9	10.8	48.6	0.0	45.9	32.4	2.7	10.8	8.1	0.0	45.9
★ III 閉鎖式心臓マッサージ	45.9	45.9	8.1	0.0	0.0	0.0	2.7	10.8	40.5	29.7	16.2	0.0	54.1
★ II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	8.1	29.7	43.2	5.4	10.8	2.7	10.8	43.2	21.6	21.6	2.7	0.0	54.1
II 体位ドレナージ	13.5	18.9	27.0	18.9	21.6	0.0	8.1	45.9	5.4	27.0	10.8	2.7	54.1
★ III 気管挿管の準備と介助	29.7	43.2	18.9	2.7	5.4	0.0	0.0	16.2	37.8	29.7	16.2	0.0	54.1
★ III 人工呼吸	48.6	37.8	10.8	0.0	2.7	0.0	0.0	16.2	37.8	29.7	16.2	0.0	54.1
II 包帯法	13.5	35.1	24.3	10.8	16.2	0.0	10.8	48.6	10.8	5.4	18.9	5.4	59.5
★ I ネブライザーの実施	5.4	16.2	18.9	5.4	54.1	0.0	59.5	27.0	2.7	8.1	0.0	2.7	59.5
I 導尿	2.7	16.2	24.3	27.0	29.7	0.0	59.5	24.3	10.8	2.7	2.7	0.0	59.5
I 入浴介助	8.1	13.5	13.5	18.9	45.9	0.0	59.5	27.0	2.7	5.4	5.4	0.0	59.5
★ III 気道確保	27.0	35.1	24.3	10.8	2.7	0.0	2.7	29.7	27.0	21.6	16.2	2.7	59.5
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	13.5	18.9	18.9	18.9	29.7	0.0	27.0	35.1	10.8	8.1	16.2	2.7	62.2
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	13.5	10.8	24.3	18.9	32.4	0.0	18.9	45.9	8.1	16.2	10.8	0.0	64.9
★ I 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	2.7	8.1	8.1	16.2	64.9	0.0	67.6	18.9	2.7	8.1	0.0	2.7	67.6
IV 人工呼吸器の管理	32.4	18.9	21.6	18.9	8.1	0.0	0.0	35.1	5.4	32.4	27.0	0.0	73.0
★ I 口腔ケア	5.4	13.5	2.7	5.4	73.0	0.0	73.0	24.3	2.7	0.0	0.0	0.0	73.0
II 排便	8.1	29.7	13.5	24.3	24.3	0.0	40.5	35.1	5.4	8.1	10.8	0.0	75.7
II リラクゼーション	5.4	24.3	18.9	21.6	29.7	0.0	29.7	45.9	8.1	8.1	8.1	0.0	75.7
II 食生活支援	5.4	10.8	21.6	21.6	37.8	2.7	40.5	35.1	8.1	5.4	5.4	5.4	75.7
I 洗腸	8.1	8.1	10.8	32.4	40.5	0.0	75.7	8.1	2.7	8.1	5.4	0.0	75.7
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	5.4	13.5	21.6	16.2	43.2	0.0	16.2	62.2	5.4	10.8	5.4	0.0	78.4
II 精神的安寧を保つための看護ケア	2.7	10.8	24.3	21.6	40.5	0.0	21.6	56.8	10.8	5.4	5.4	0.0	78.4
★ II 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	0.0	13.5	13.5	21.6	51.4	0.0	16.2	64.9	8.1	8.1	2.7	0.0	81.1
★ II 経管栄養法	16.2	8.1	16.2	16.2	43.2	0.0	64.9	16.2	5.4	2.7	10.8	0.0	81.1
★ II 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	2.7	10.8	24.3	18.9	43.2	0.0	24.3	59.5	2.7	13.5	0.0	0.0	83.8
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	2.7	10.8	13.5	16.2	54.1	2.7	37.8	45.9	8.1	2.7	5.4	0.0	83.8
II 麻薬の主作用・副作用の観察	0.0	13.5	24.3	21.6	40.5	0.0	21.6	64.9	2.7	8.1	2.7	0.0	86.5
★ II 食事介助	10.8	10.8	13.5	29.7	32.4	2.7	62.2	24.3	2.7	5.4	5.4	0.0	86.5
★ I ベッドメイキング	0.0	13.5	8.1	18.9	59.5	0.0	89.2	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0	89.2
II 入眠・睡眠への援助	2.7	10.8	18.9	21.6	43.2	2.7	40.5	48.6	0.0	5.4	5.4	0.0	89.2
II 創傷処置	0.0	10.8	18.9	29.7	40.5	0.0	18.9	75.7	0.0	0.0	2.7	2.7	94.6

「目標の目安」に達している者の
合計の割合

0.0 50.0 100.0



* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度

図 16 実施頻度と到達状況：500床以上

4. 基礎教育における学習状況と現在の到達度

ガイドラインの各項目の基礎教育における学習状況と現在の到達度を新人看護職員の評価から明らかにした結果である。

a. 基礎教育での学習状況 (図 17)

到達の目安が「I：できる」かつ「★：1

年以内に経験し修得を目指す項目」は 25 項目であるが、そのうち「実習で実施した」割合が 80%以上の項目は、技術的側面の 4 項目のみであった。その具体的項目は、“清拭：82.4%”、“寝衣交換等の衣生活支援、整容：81.6%”、“部分浴、陰部ケア、おむつ交換：81.2%”、“バイタルサイン（呼吸、脈拍、体温、血圧）の観察と解釈：80.8%”であった。

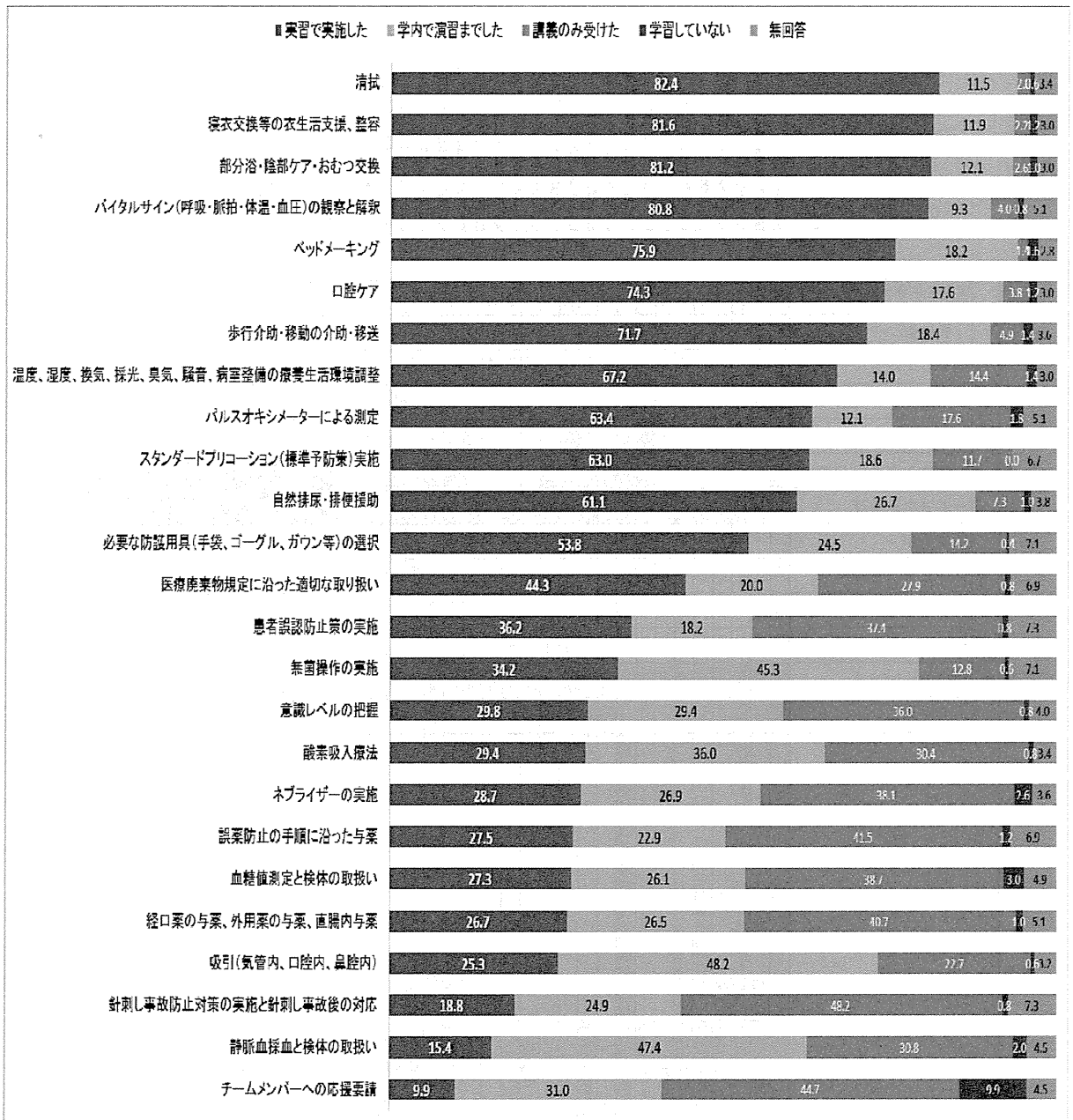


図 17 基礎教育での学習状況 - 技術的側面

b. 病床別の到達度

技術的側面の項目で「ひとりでできる」と回答した割合が80%に満たない項目を紹介する。

(1) 一般病床 (図 18)

一般病床では“チームメンバーへの応援要請：43.5%”、“意識レベルの把握：57.0%”、“無菌操作の実施：64.5%”、“針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応：66.5%”の4項目である。

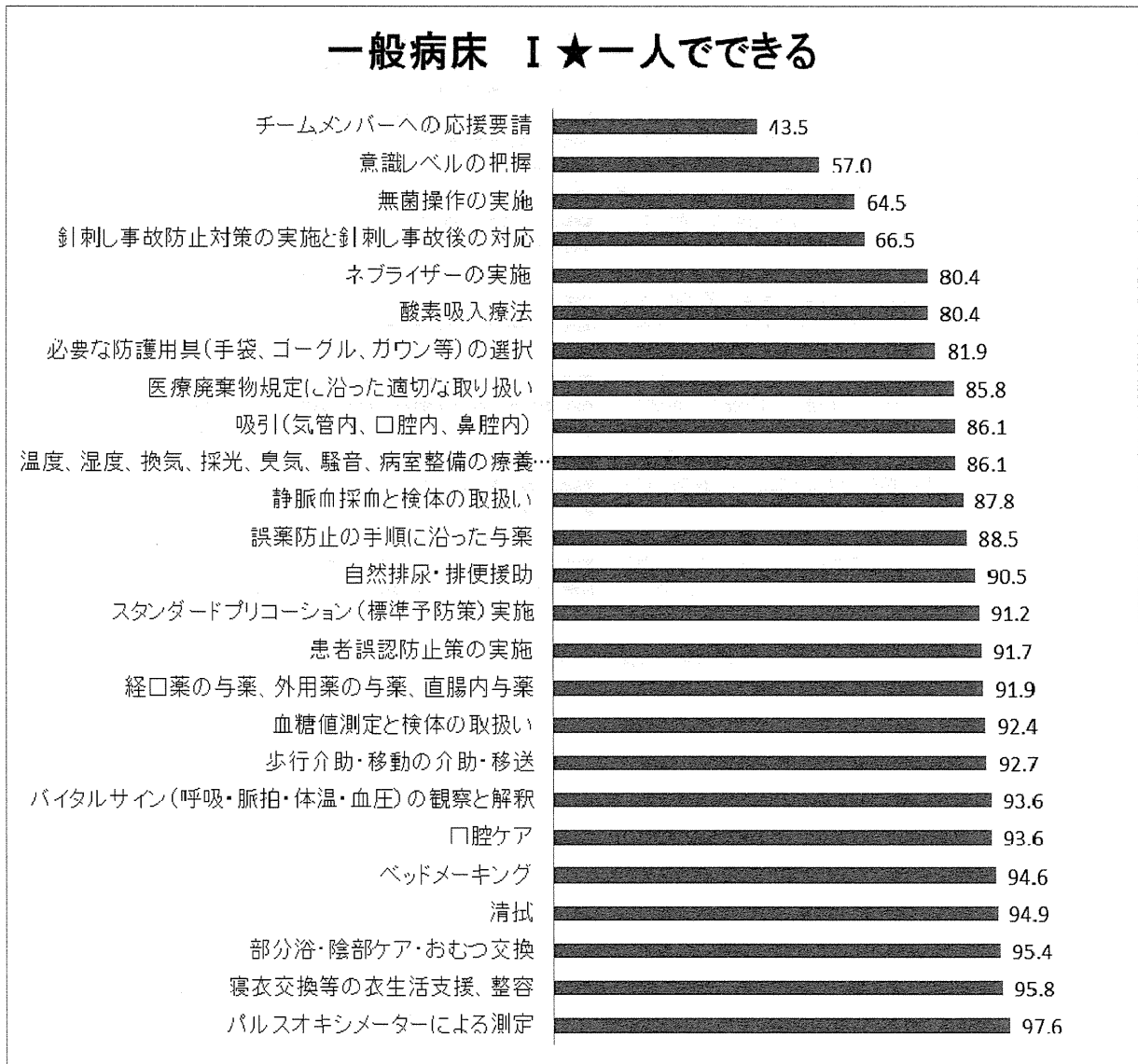


図 18 病床別の到達度：一般病床

(2) 療養病床 (図 19)

療養病床では、“チームメンバーへの応援要請：40.0%”、“意識レベルの把握：57.6%”、“針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後

の対応：60.6%”、“無菌操作の実施：60.6%”、“必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択：77.1%”の5項目だった。

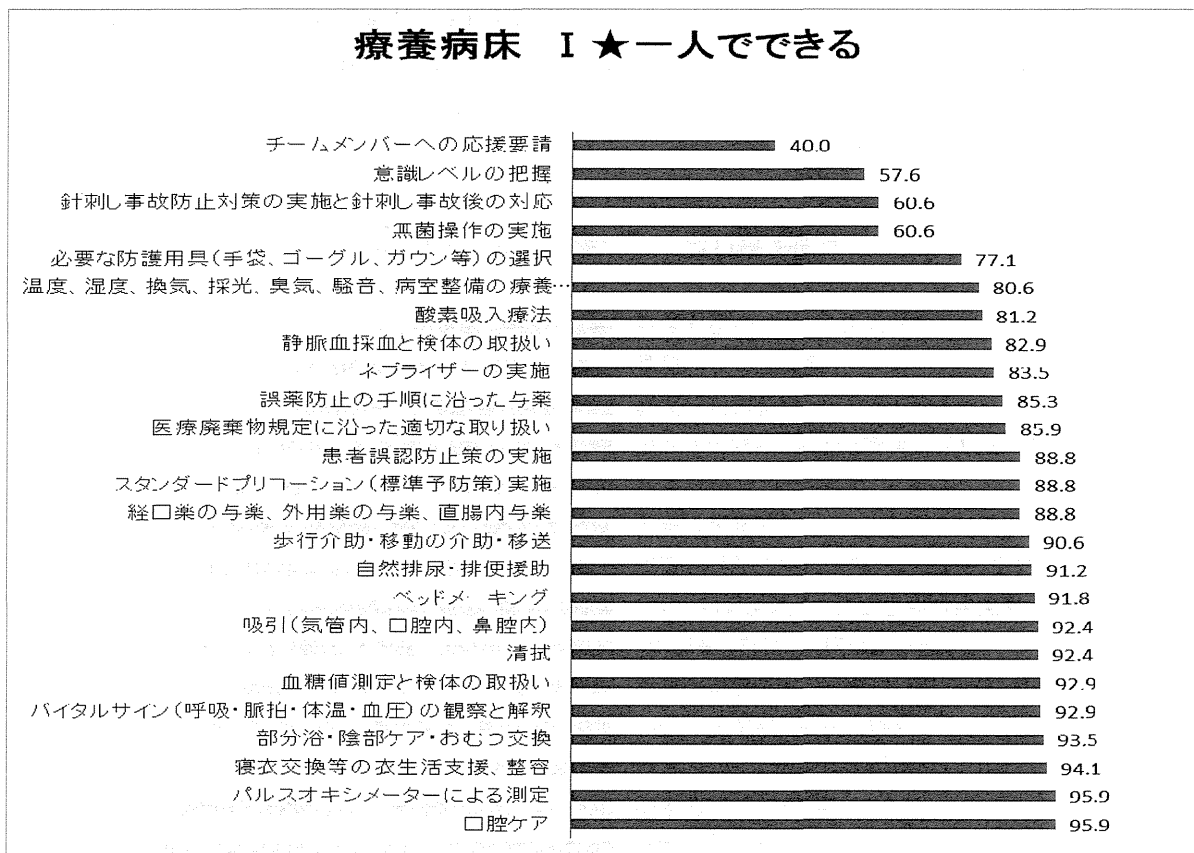


図 19 病床別の到達度：療養病床

(3) 精神病床 (図 20)

精神病床は 8 項目が該当し、“意識レベルの把握：41.2%”、“チームメンバーへの応援要請：50.6%”、“針刺し事故防止対策と針刺し事故後の対応：57.6%”、“無菌操作の実施：

61.2%”、“酸素吸入療法：61.2%”、“ネブライザーの実施：62.4%”、“吸引（気管内、口腔内、鼻腔内）：75.3%”、“必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン等）の選択：76.5%”、であった。

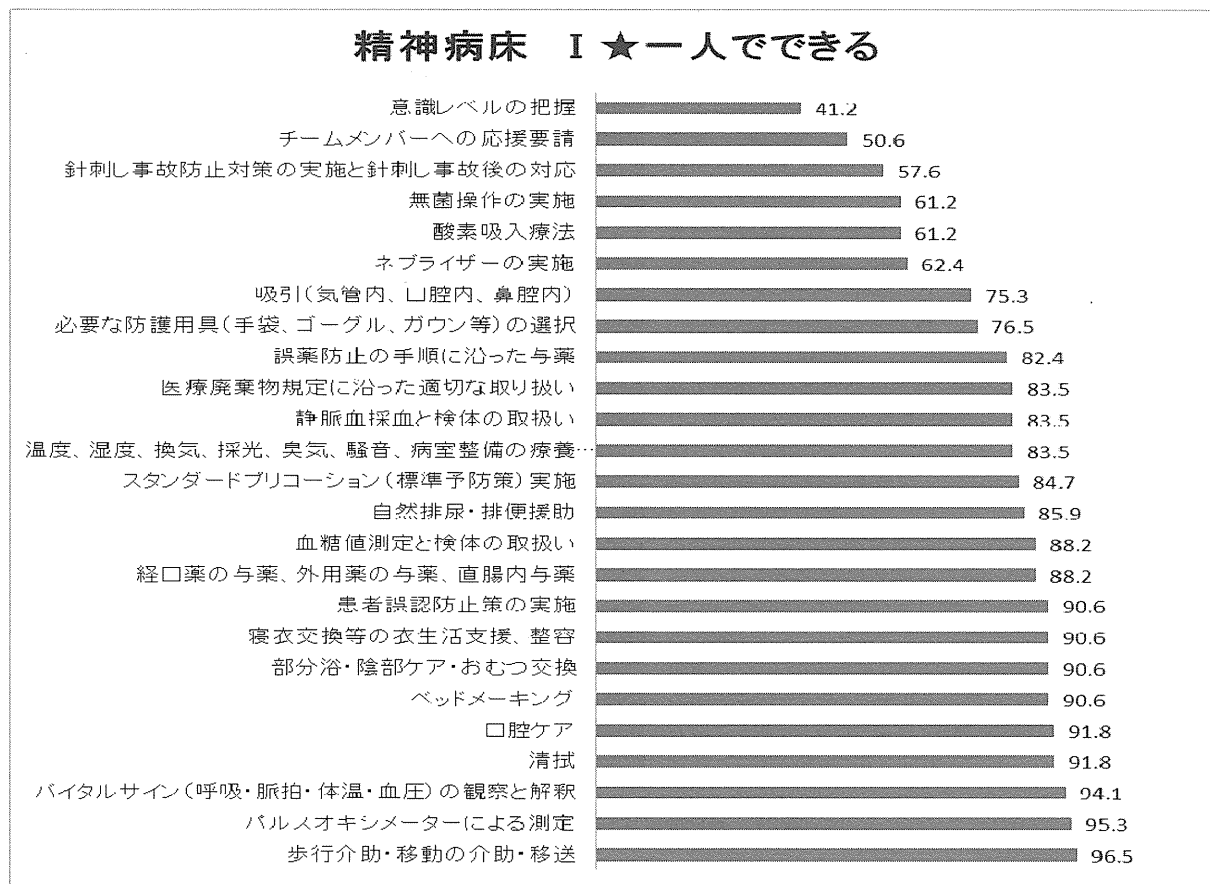


図 20 病床別の到達度：精神病床

(4) 感染症病床 (図 21)

感染症病床は4項目が該当し、“チームメンバーへの応援要請：46.8%”、“意識レベルの

把握：59.6%”、“針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応：66.0%”、“無菌操作の実施：66.0%”、であった。

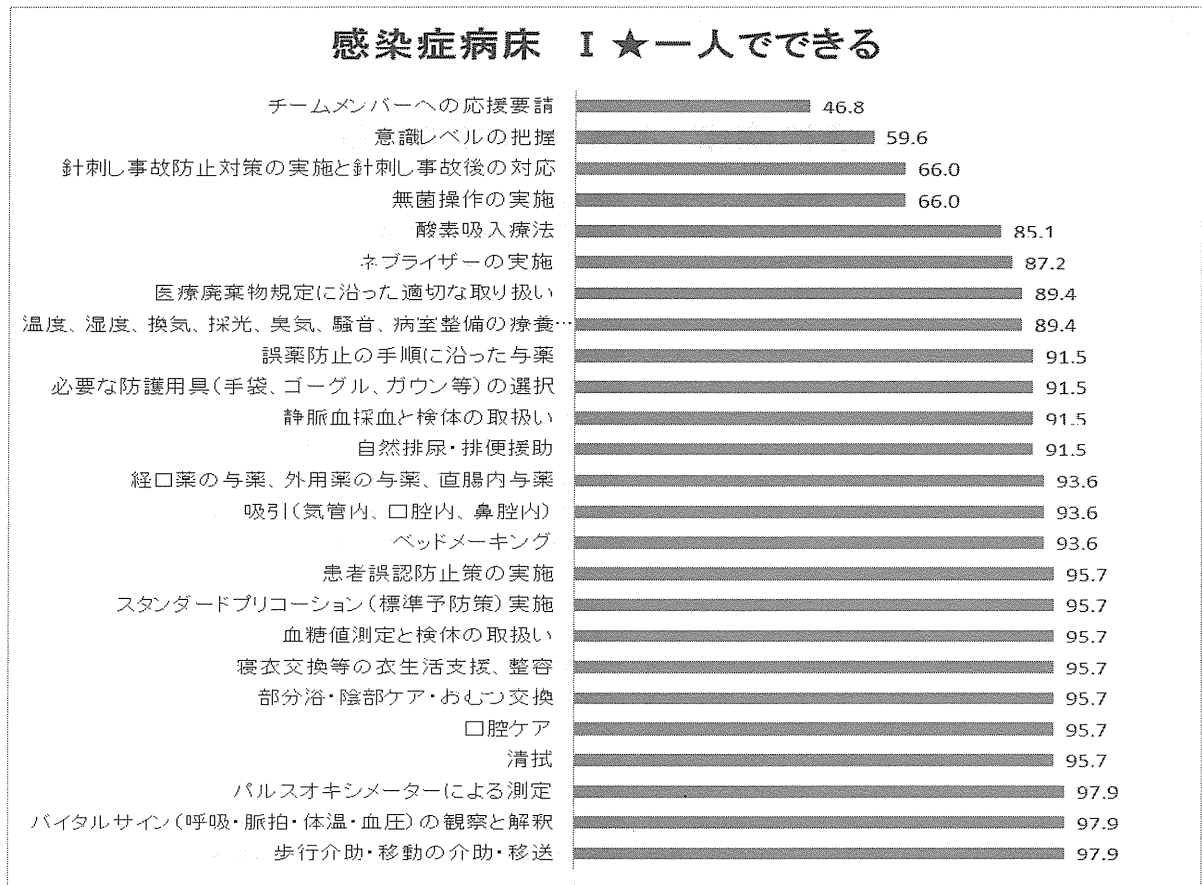


図 21 病床別の到達度：感染症病床

(5) 結核病床 (図 22)

結核病床では、“チームメンバーへの応援要請：52.9%”、“意識レベルの把握：55.9%”、“針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後

の対応：58.8%”、“無菌操作の実施：58.8%”、“ネブライザーの実施：73.5%”、“酸素吸入療法：76.5%”であった。

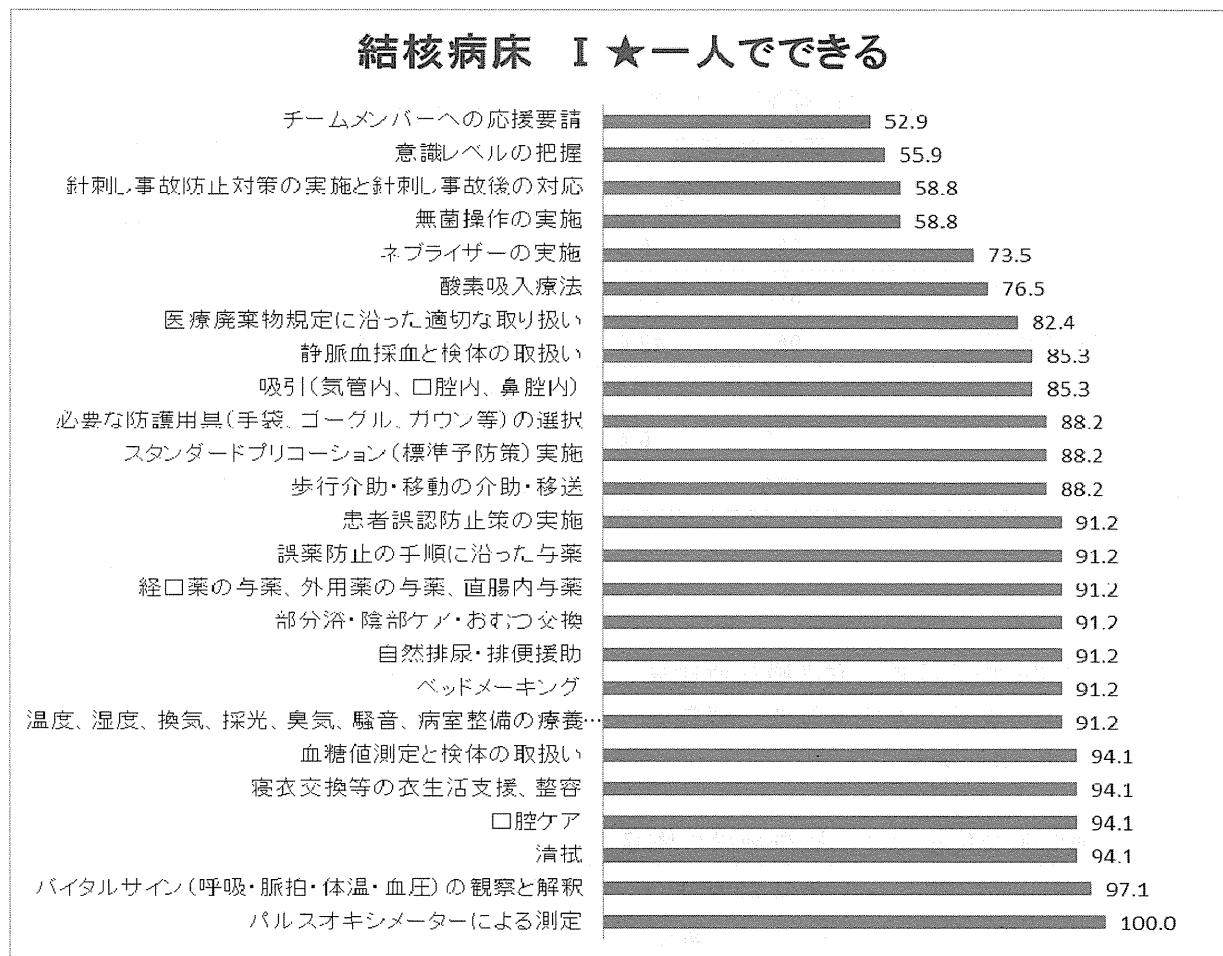


図 22 病床別の到達度：結核

5. 看護職員研修事業補助金交付を受けた医療施設の研修実施状況に関する分析結果

a. 医療法上の許可病床総数

平成 22～24 年度に新人看護職員研修事業の補助金交付を受けた医療施設の許可病床数について、表 9 に示す。

各年度による違いはほとんど見られず、200 床～499 床以下が約半数を占めていた。

表 9 補助金交付を受けた医療施設の医療法上の許可病床数

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	N	%	N	%	N	%
99 床以下	123	6.3	118	6.7	157	7.8
100～199 床以下	520	26.6	477	27.1	561	28
200～499 床以下	967	49.4	871	49.4	970	48.4
500 床以上	338	17.3	292	16.6	313	15.6
不明	8	0.4	4	0.2	5	0.2
合計	1956	100	1762	100	2006	100

b. 離職率

平成 22～24 年度に新人看護職員研修事業の補助金交付を受けた医療施設の離職率について、表 10 に示す。

各年度による違いはほとんど見られず、看護職員離職率が 10.4～10.8 人、新人看護職員離職率が 7.5～8.0 人であった。

表 10 補助金交付を受けた医療施設の離職率

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	N	平均	N	平均	N	平均
看護職員離職率	1935	10.4	1755	10.8	2001	10.6
新人看護職員離職率	1935	7.5	1738	8.0	1966	7.8

c. 医療機関受入研修事業

平成 22～24 年度に新人看護職員研修事業の補助金交付を受けた医療施設における受入研修事業について、表 8 に示す。

受け入れていると回答した施設は、平成 22 年度が 118 施設（6.0%）だったのが、平成 23 年度 140 施設（7.9%）、平成 24 年度 177 施設（8.8%）と微増している。

表 11 医療機関受入研修事業

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	N	%	N	%	N	%
受け入れている	118	6	140	7.9	177	8.8
受け入れていない	1838	94.0	1622	92.1	1829	91.2
合計	1956	100	1762	100	2006	100

d. 研修を実施したことによる変化等

平成 22～24 年度に新人看護職員研修事業の補助金交付を受けた医療施設における研修を実施したことによる変化等について、表 12 に示す。

表 12 看護部以外の職員の意識への影響と補助金交付との関係

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	N	%	N	%	N	%
研修手帳の活用が組織内に浸透した	194	14.3	287	16.4	284	14.5
施設管理者の新人看護職員研修に関する意識が変わった	570	41.9	657	37.5	614	31.3
看護職員の新人看護職員研修の認識が変化した	1138	83.7	1445	82.5	1565	79.8
他職種を含む、施設内の職員すべてに新人看護職員研修の認識が変化した	340	25	511	29.2	630	32.1
新人看護職員研修の理念が施設全体の理念に影響した	114	8.4	150	8.6	199	10.1
施設内全体、もしくは看護部門全体の体制強化につながった	913	67.1	1162	66.3	1278	65.1
地域内での他医療施設等との連携が図れた	114	8.4	163	9.3	244	12.4
保健師助産師看護師学校養成所との連携が図れた	45	3.3	59	3.4	68	3.5
看護師の定着により、財政的にプラスの効果が得られた	191	14	247	14.1	306	15.6
その他	539	39.6	672	38.4	649	33.1
合計	1360	100	1752	100	1962	100

e. 到達目標の項目別到達状況

平成 22～24 年度に新人看護職員研修事業の補助金交付を受けた医療施設における到達目標の項目別到達状況を図 23～図 28 に示す。

(1) 「I：できる」かつ「★」の項目

ここでは到達目標が「I：できる」であり、加えて「★：1 年以内に経験し修得を目指す項目」とされている項目に関する到達状況を述べる。

1) 「技術的側面」について (図 23)

該当する項目は 25 項目である。そのうち 19 項目は 80%以上の新人看護師が「できる」レベルに到達していると回答した。その一方、6 項目については「できる」と回答した割合が 80%に到達していなかった。80%に到達していなかった具体的な項目と割合は、“チームメンバーへの要請：53.3%”、“意識レベルの把握：60.1%”、“針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応：64.4%”、“無菌操作の実施：70.4%”、“吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)：76.8%”、“ネブライザーの実施：78.5%”であった。

(2) 「看護職として必要な基本姿勢」と「態度および管理的側面」(図 24)

該当する項目は 17 項目である。80%以上の新人看護師が「できる」レベルに到達していると回答した項目は、4 項目のみであり、13 項目は 80%未満であった。80%に到達していなかった具体的な項目と割合は、“施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する：45.3%”、“患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る：56.7%”、“患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する：58.9%”、“施設内の医療情報に関する規定を理解する：59.6%”、“施設における医療安全管理体制

について理解する：61.4%”、“自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を見つける：64.5%”、“業務上の報告・連絡・相談を適切に行う：74.8%”、“同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる：75.3%”、“業務の基準・手順に沿って実施する：76.4%”、“医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する：76.4%”、“看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する：78.6%”、“インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う：79.1%”であった。

(3) 「I：できる」の項目 (図 25)

技術的側面の項目において、「I：できる」とされている項目に関する到達状況を述べる。該当する項目は 11 項目である。そのうち、5 項目は 80%以上の新人看護師が「できる」レベルに到達していると回答した。80%に到達していなかった具体的な項目と割合は、“動脈血採血の準備と検体の取り扱い：49.9%”、“心電図モニター・12 誘導心電図の装着、管理：56.0%”、“洗浄・消毒・滅菌の適切な選択：61.3%”、“導尿：68.5%”、“皮下注射、筋肉内注射、皮内注射：71.3%”、“入浴介助：79.4%”であった。

(4) 「II：指導のもとでできる」かつ「★」の項目 (図 26)

到達目標が「II：指導のもとでできる」であり加えて「★：1 年以内に経験し修得を目指す項目」とされている項目に関する到達状況を述べる。

該当する項目は、21 項目であるが、「できる」「指導のもとでできる」を合算すると、すべての項目が 80%を超えていた。

(5) d. 「Ⅱ：指導のもとでできる」の
項目（図 27）

該当する項目は、24 項目である。「できる」「指導のもとでできる」を合算すると、80%を超えていた項目は、20 項目であった。合算しても 80%に到達していなかった具体的な項目と割合は、“止血：56.9%”、“体位ドレナージ：72.1%”、“包帯法：76.1%”、“中心静脈内注射の準備・介助・管理：76.2%”であった。

(6) 「Ⅲ：演習でできる」かつ「★」
および「Ⅳ：知識としてわかる」の項
目（図 28）

該当する項目は 5 項目であるが、そのうち「人工呼吸器の管理：20.1%」のみが未経験割合の高い項目だった。

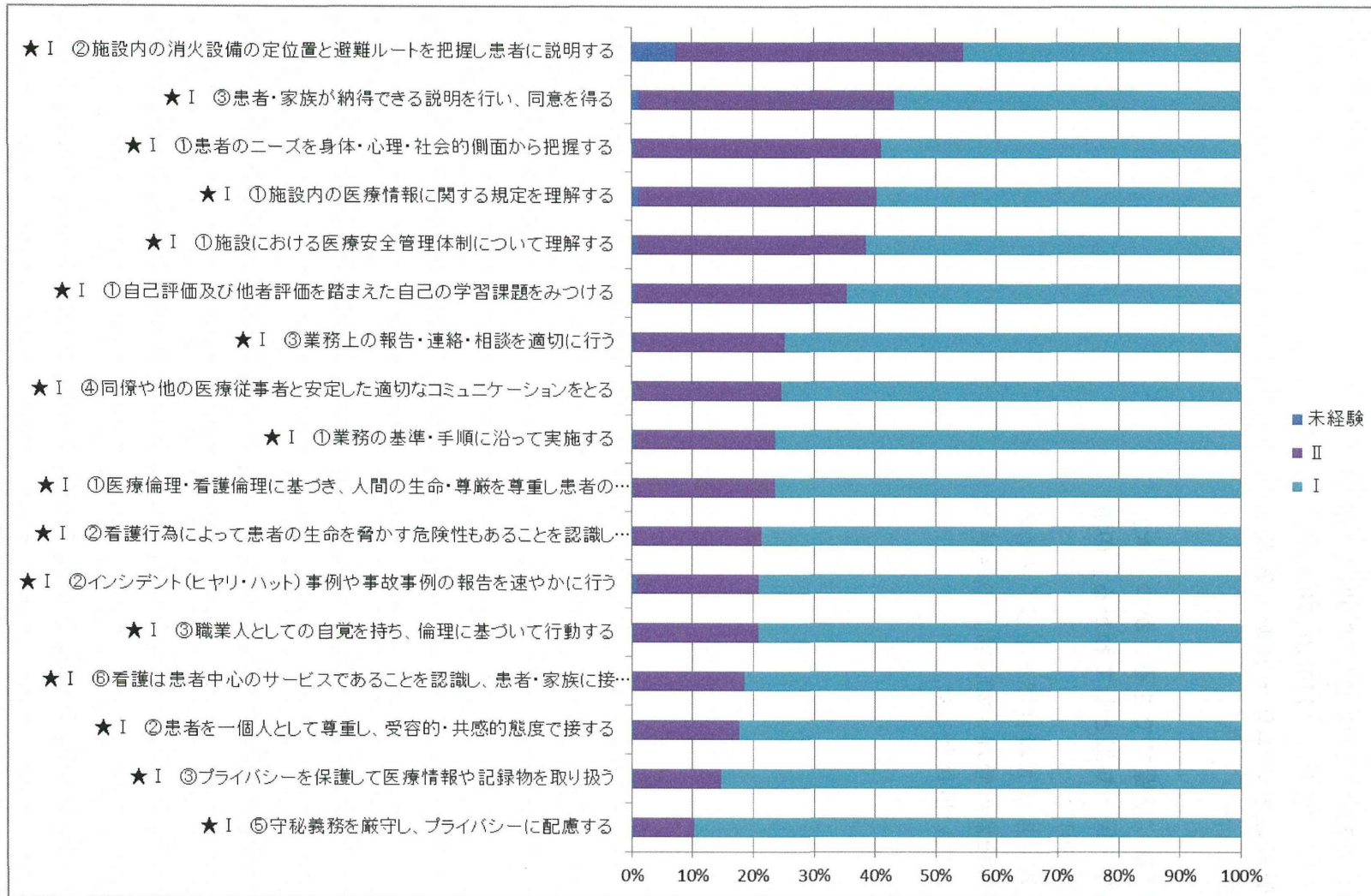


図 23 「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「管理的側面」到達目標の項目別到達状況：到達の目安が「★ I」の項目

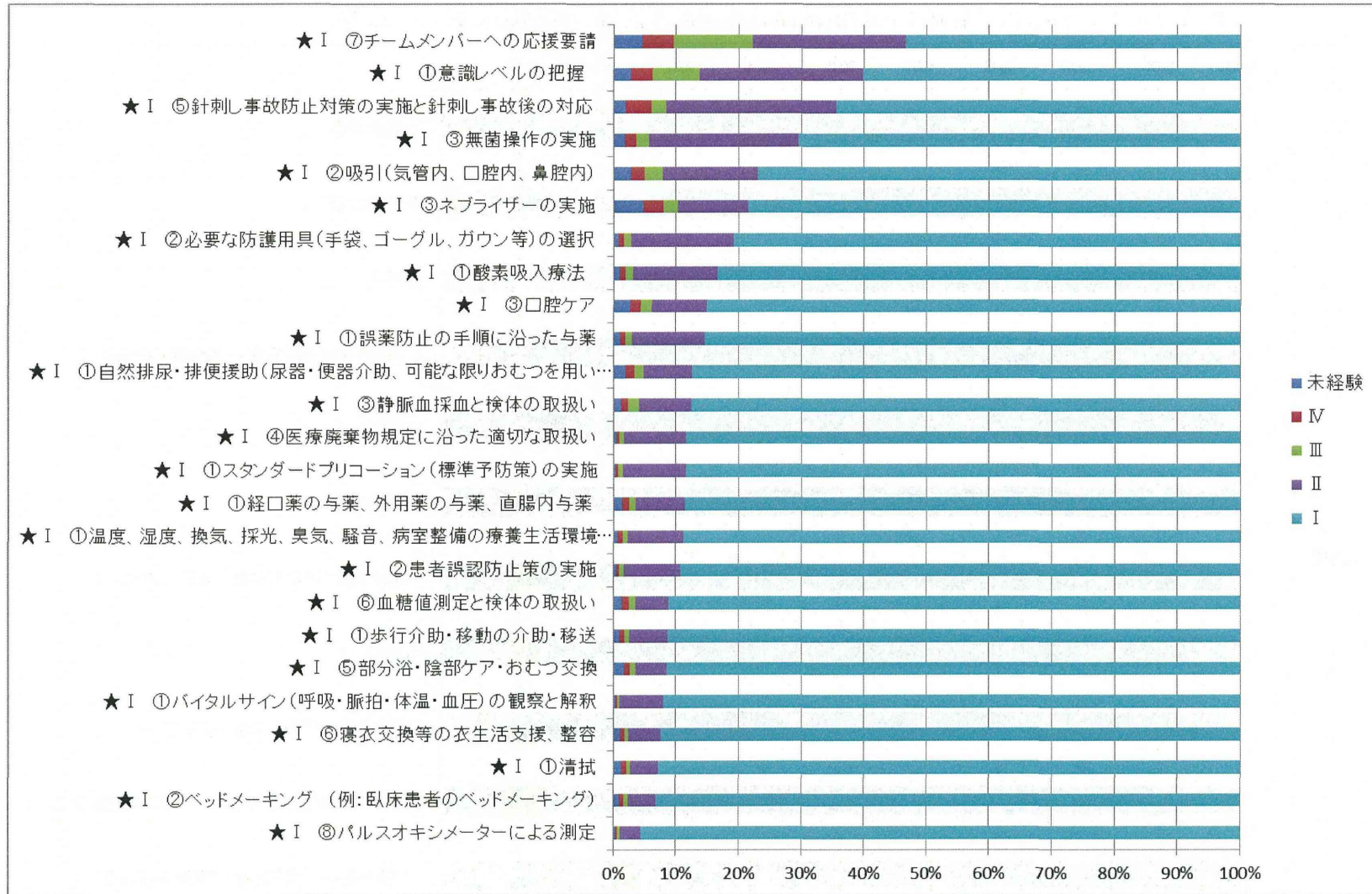


図 24 「技術的側面」到達目標の項目別到達状況：到達の目安が「★ I」の項目